

## 高山駅西地区まちづくり構想の策定について

J R高山駅は、国内外から多くの観光客を受け入れる国際観光都市飛騨高山の玄関口であるとともに、飛騨地域における公共交通の重要な結節点である。本市では、高山駅周辺の秩序ある発展に寄与し、飛騨地域における高次商業拠点の形成などを図ることをこれまで数次の総合計画に位置付けながら、高山駅周辺の整備に取り組んできた。

駅東地区は、商業・業務施設が集積しているエリアであり、多くの観光客を受け入れ、宮川東部の古い町並（伝統的建造物群保存地区及びその周辺）などへの誘導機能も担っている。

一方、駅西地区については、橋上駅舎化や東西自由通路、J Rアンダーパスの整備等により、高山駅を中心とした東西の往来がしやすい環境が整ったものの、市民文化会館など既存施設の老朽化への対応、商業と居住の調和した住環境の形成が求められている。

駅西地区については市全体の人々の交流の促進と更なる地域活性化を図るため、高山駅周辺の新たなまちづくりに向けた構想を令和4年度中に策定することとしている。

## 1. 現状と課題

(1) 市民等意見のまとめ

別紙1

(2) 駅西地区の現状等と課題

別紙2

## 2. 構想の概要

(1) 構想の位置づけ・構成

別紙3

(2) 地区の役割、まちづくりのコンセプト

別紙4

(3) まちづくりの方向性、取組み

別紙5

(4) 複合・多機能機能の考え方

別紙6

## 3. 今後の予定

令和4年12月～ パブリックコメント

3月 高山駅西地区まちづくり構想の策定

令和5年度 施設整備に係る調査（整備事項の整理、PPP可能性調査等）

高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画（仮称）の策定

中心市街地活性化基本計画の策定

## 市民等意見のまとめ

### (1) 意見募集

市の示した高山駅西地区まちづくり構想策定に向けた基本的な考え方等に対する意見、要望等を募集

期間 ～6月30日

件数 9人

結果 参考資料 1

### (2) 市民アンケート

今後の高山駅西地区のまちづくりに向けて期待する機能等について市民意識を調査

期間 6月1日～7月13日

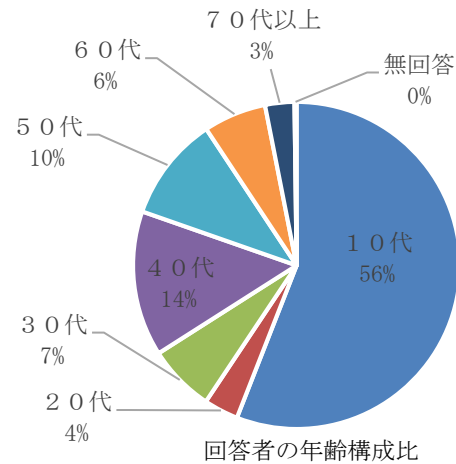
件数 967件

※市ホームページ掲載、市メール配信、公共施設でのポスター掲示のほか、若者の意見把握に向けて、小中学校や高校を通じた呼びかけ、駅周辺を利用する高校生など若者への街頭での呼びかけを実施

結果 参考資料 2

結果概要

1位	娯楽機能	91.8%
2位	商業機能	89.7%
3位	公園や広場	84.6%
4位	景観	81.5%
5位	公共交通機関	75.7%
6位	教育・学習機能	72.5%
7位	道路	72.2%
8位	子育て支援機能	69.0%
9位	駐車場や駐輪場	68.7%
10位	医療・福祉機能	65.1%



- ・「娯楽機能」は、映画館や複合的遊戯施設（カラオケやボウリングなど）がほしいという意見が多かった。
- ・「商業機能」は、複合的商業施設（ショッピングセンター・地下街など）がほしい、カフェやレストランなどの飲食店、本屋や雑貨店がほしいという意見が多かった。
- ・「公園や広場」は、大規模な公園がほしいという意見が多かったほか、屋内型の子どもの遊び場がほしいという意見があった。

### (3) ワークショップ

高山駅西地区のまちづくりについて、現状や課題を共有するとともに、まちづくりのコンセプトや機能などを検討及び提案するため、公募市民によるワークショップを開催

参加者 18名（10代から70代まで）

内容 ○第1回 6月26日 ～いまを知ろう～

構想の方向性を説明、駅西地区をまちあるき

○第2回 7月4日 ～みんなの意見を聴こう～

グループワークにより駅西地区の現状や課題等について意見交換

○第3回 7月11日 ～未来の姿をえがこう～

グループワークにより、新たなまちづくりのコンセプト、その実現に向けた具体的な取り組みについてとりまとめ発表

結果 参考資料3

### (4) 団体・事業者へのまちづくりの構想説明、意見交換

①団体・事業者などのまちづくりに関わる多様な主体に対し構想の方向性などを説明したほか、意見交換を実施

内容 7団体 計87名

団体 みなみまちづくり協議会 6月 8日

(一社) 高山市文化協会 6月16日

高山市商店街振興組合連合会 6月17日、6月28日

(社福) 高山市社会福祉協議会 6月27日

濃飛乗合自動車(株) 6月29日

岐阜県タクシー協会飛騨支部 7月 8日

高山商工会議所青年部会 9月22日

結果 参考資料4

② 駅西地区が校区となる南小学校において、まちづくりにかかる授業を実施

開催日 7月13日

参加者 児童45名

内容 i) 高山駅西地区まちづくりの概要説明  
・まちづくりって何？  
・駅西地区の今と昔  
ii) グループ交流  
・班ごとに高山駅西のいいところや、まちの目標について交流

結果 参考資料5

(5) 事業者提案

構想策定における事業者との意見交換等を実施

件数 3件

※令和3年度PPP事業者研修会の参加企業等

主な意見

- ・ 駅西地区全体のエリアマネジメントの検討を行い、具体的な成果目標を定めてまちづくりをすすめると良い。
- ・ 商業機能や娯楽機能は事業者との意見交換の中で実現可能性を探っていくのが良いが、人口規模等を踏まえると駅西地区は民間による投資先としての魅力は少ない。
- ・ 同程度の人口規模の自治体と比べて、観光都市としてのブランドがあるため、一般的でない他とは異なった提案は可能である。

●現状

① 社会情勢

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・コロナ禍における行動や生活様式、価値観の変容
- ・異常気象や大地震の発生への危惧
- ・デジタル技術の急激な進化
- ・ユニバーサルデザインへの対応

② 土地利用に関すること

- ・都市計画の用途地域は、商業系と住居系が混在
- ・比較的規模の大きい商業施設が点在

③ 機能・施設に関すること

- ・公共施設が点在しているが老朽化が進行
- ・駐車場の大型バスの利用は大きく減少
- ・駅西口の利用者数は東口の1/3程度
- ・イベント開催時の駐車場の不足
- ・休日やイベント開催時における渋滞の発生

●市民意見等

① 市民の期待度

- 期待度上位（全27項目のうち上位5位）**Ⓐ**
- 1位：娯楽機能      2位：商業機能
  - 3位：公園や広場    4位：景観
  - 5位：公共交通機関

② 位置づけ、方向性

- ・市民のためのまちづくり **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・子どもや若者が住みたいと思えるまち（移住・定住） **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・新たな複合施設を核としたまちづくり **ⓓ**
- ・市全体の視点を持ち、駅東西の役割の明確化 **Ⓐ****ⓓ**

③ その他意見

- ・機能間の連携強化 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・待ち時間を過ごせる機能の追加（滞在スペース、木陰） **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・子どもが遊べるスペースの確保（屋内型、大型の公園） **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・既存施設の構造的課題への対応 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・新たな技術の導入（3Dなど） **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・大規模な民有地の有効活用 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・自由通路と直結した施設の整備 **Ⓜ**
- ・新たな商店街の形成 **Ⓜ****ⓓ**
- ・まちなかでの暮らし（居住機能）への配慮 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・若者が働ける場所づくり（貸スペース） **ⓓ**
- ・図書館機能の追加（分館など） **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・高山を発信できる象徴的なスポット **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・イベント開催時駐車場不足、渋滞への対応 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・緑の確保 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・道路の拡幅整備 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・公共交通の利便性向上 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・パークアンドライドの推進 **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**
- ・回遊性や歩行空間の確保（新たな動線の整備） **Ⓐ****Ⓜ****ⓓ**

●駅西地区のまちづくりの課題

① 将来を見据えた公的機能の整理・集約

老朽化している市民文化会館・市公民館や総合福祉センターの再建築や大規模改修などの整備が求められています。  
施設整備にあたっては、人口動態などの長期的な視点による配置や規模の適正化、将来の変化にも対応できる柔軟性を確保するとともに、地区内の土地の有効活用・集約化や施設相互に連携しやすい配置・構造とするなど機能性・利便性の向上を図る必要があります。  
また、頻発する豪雨などの災害への備えやユニバーサルデザインの推進など、だれにもやさしいまちづくりをすすめる必要があります。

② 夢や希望を叶える多彩な魅力の創出

新型コロナウイルス感染症拡大など社会全体に閉塞感があるなか、子どもや若者が活躍し、楽しむことができる機能の充実により、高山に住みたいと思えるまちづくりをすすめる必要があります。特に市民期待度が上位の商業機能や娯楽機能など民間主体の機能については、民間による整備に加え、官民連携による効果的かつ効率的な運用の検討をすすめる必要があります。

③ 高山らしい景観との調和

高山の景観は市民の誇りであり、駅西地区に適した景観の保全・創出を検討する必要があります。また、周辺の里山や飛騨山脈など、市街地から見える眺望に配慮するとともに、まちなかでの緑を確保していく必要があります。

④ ゆとりのある空間の確保

利便性が高い地区にあって、住宅などの居住スペースが多い駅西地区においては、住みやすく楽しむことができる環境の確保が求められています。公園や広場といったオープンスペースの配置による広々とした解放感のある空間の確保に加え、利便性を活かしたイベント開催などによる有効活用を図る必要があります。

⑤ 交通結節点としての機能向上

飛騨地域の交通拠点である高山駅に近接しており、待ち時間を有効に活用できる機能など公共交通利用者の利便性の向上が求められています。また、パークアンドライドや周辺施設利用者の駐車需要への対応、車両による円滑なアクセスの確保が求められています。

⑥ 地域内回遊性の向上

施設間や地区間の行き来など人の流れを意識した動線の確保や雨天・積雪時にも移動しやすい歩道の整備など、地区内だけでなく、駅東地区との回遊性や相乗効果を生み出すしくみを構築する必要があります。

⑦ 情報通信技術の活用と魅力の発信

新型コロナウイルス感染症拡大を機に、デジタル技術は加速的に進展し、距離的なハンデキャップの解消につながるオンラインの活用などにより、デジタル技術がもたらす社会のイノベーションを図っていくことが求められています。  
また、多くの人が集まることや交通利便性を活かして、飛騨高山の文化や技術といった魅力や価値を積極的に発信していく必要があります。

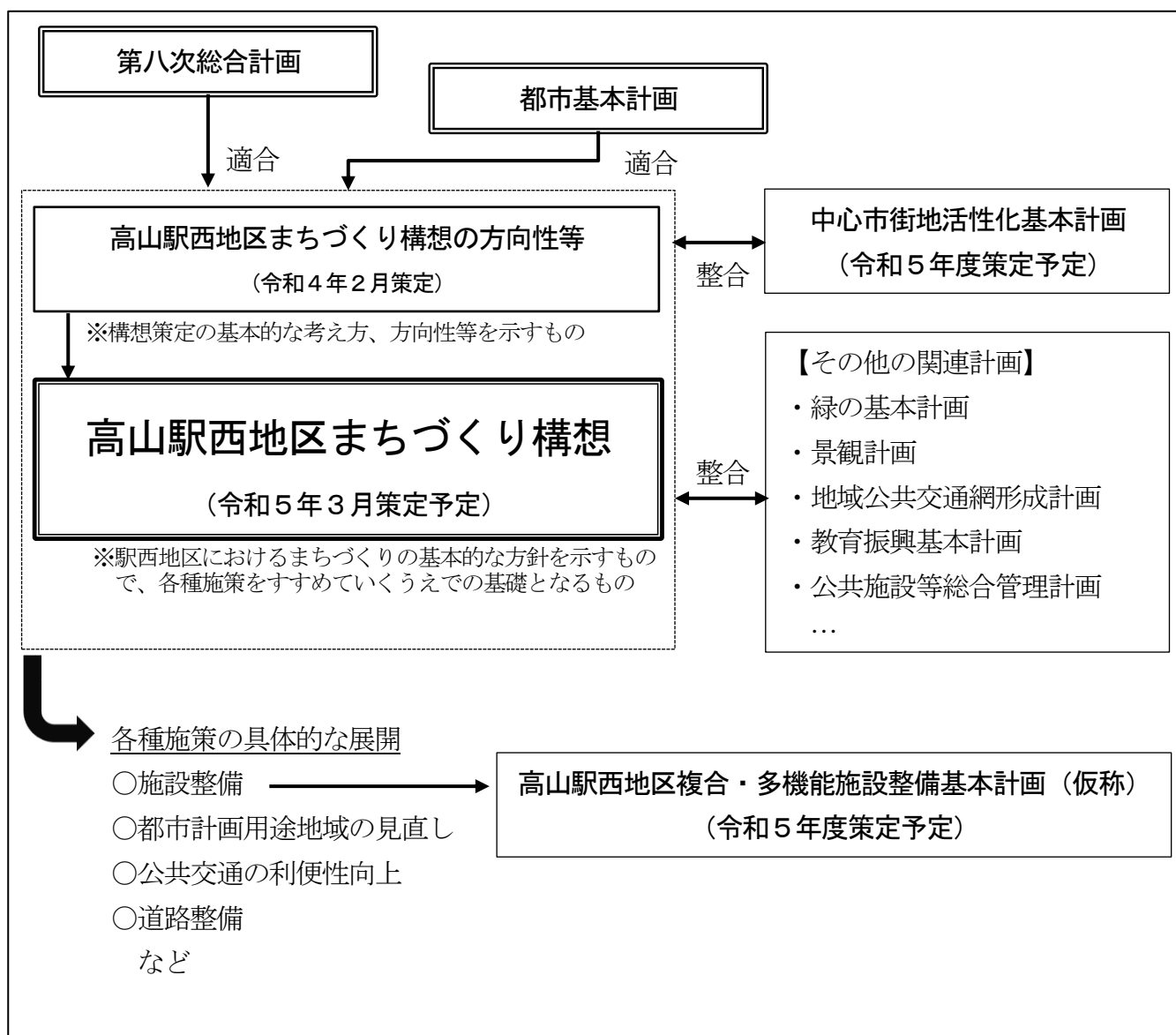
※Ⓐ：意見募集・アンケート、Ⓜ：ワークショップ、ⓓ：団体・事業者意見において意見があったもの

## 構想の位置づけ・構成

### 1. 構想の位置づけ

高山駅西地区まちづくり構想は、高山駅西地区におけるまちづくりの基本的な方針を示すものであり、「第八次総合計画」及び「都市基本計画」に適合するとともに、令和5年度策定予定の「中心市街地活性化基本計画」をはじめ「緑の基本計画」、「景観計画」などのその他関連計画との整合を図る。

また、本構想に基づいて、本地区における各種施策をすすめていくこととし、特に複合・多機能施設の整備にあたっては、令和5年度に具体的な施設の機能や規模、配置、事業の実施手法を検討したうえで、高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画（仮称）を策定する予定としている。



## 2. 構想の構成 (案)

<p><u>第1章 構想の策定にあたって</u></p> <p>(1)構想策定の目的 (2)構想の位置づけ (3)構想の区域</p>
<p><u>第2章 高山駅西地区の現状と課題</u></p> <p>(1)高山駅周辺整備の経過 (2)本市を取り巻く社会情勢等 (3)本地区の現状 (4)市民意見 (5)高山駅西地区の課題</p>
<p><u>第3章 基本方針</u></p> <p>(1)地区の役割 (2)まちづくりのコンセプト ふれあい×にぎわい×つながり ～市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心はずませる駅西エリア～</p>
<p><u>第4章 まちづくりの方向性と取り組み</u></p> <p>方向性1 「ふれあい」のまちづくり ～ 市民交流・生活支援 ～ 1. 多くの市民が集う交流・活動拠点の形成 2. 子育てなど市民生活を支える支援拠点の形成 方向性2 「にぎわい」のまちづくり ～ 利便性・住環境 ～ 1. 魅力あふれるにぎわい創出拠点の形成 2. 美しい景観と緑のある生活拠点の形成 方向性3 「つながり」のまちづくり ～ 公共交通・情報 ～ 1. 誰もが快適に利用できる交通拠点の形成 2. 高山の存在感を伝える情報拠点の形成</p>
<p><u>第5章 複合・多機能施設の考え方 ※1</u></p> <p>1. 基本的な考え方 2. 機能の考え方 3. 配置の考え方 4. 留意事項・課題</p>
<p><u>第6章 構想の推進に向けて</u></p> <p>(1)整備基本計画の策定 (2)全庁的な推進体制 (3)官民連携の推進</p>

※1 複合・多機能施設の整備にあたっては、駅西地区のまちづくりにおける個別の取り組みの1つであるが、著大事業となることが想定されるため、令和5年度の策定予定の整備基本計画の基本となる考え方について示すもの

## 地区の役割、まちづくりのコンセプト

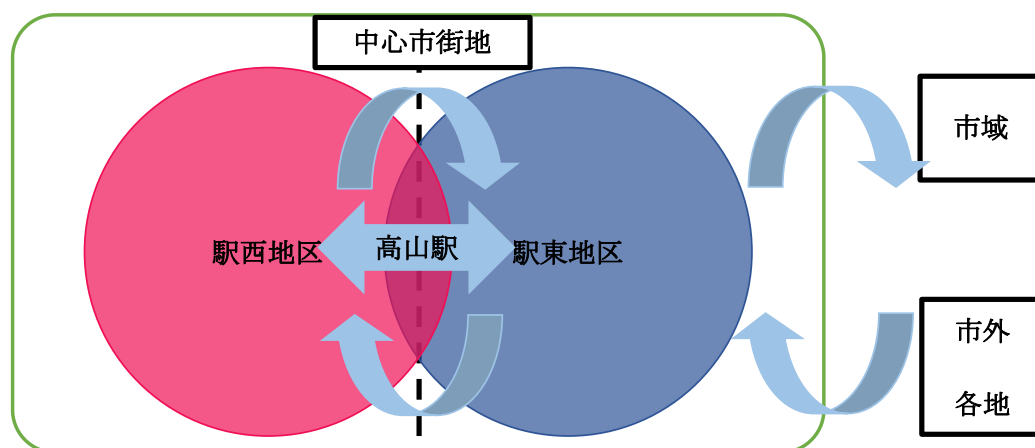
### (1) 地区の役割

高山駅西地区のまちづくりをすすめるにあたっては、駅西地区だけではなく、高山駅東西が相互に魅力や機能高め、地区間の周遊性や連動性を向上させるため、それぞれの役割を明確にしてまちづくりをすすめる必要があります。

高山駅東西を含む中心市街地は、貴重な歴史・文化資源が保存、継承されている高山市の「まちの顔」であり、豊かで安定した市民生活を営むことができる基盤として、また、世界・全国・全市域をつなぐ交流の結節点として重要な役割を担っています。

そのなかでも、駅東地区においては、古い町並や商店街などを有し、国内外から多くの観光客が訪れる地区となっています。それを踏まえ、これまで培ってきた歴史と伝統を大切にしつつ、市民生活と調和を図りながらさらなる発展に向けたまちづくりをすすめます。

駅西地区においては、市民利用を主目的とする公共施設や商業施設を有する地区となっています。それを踏まえ、**利便性の高い住環境の形成に加え、交通の利便性を活かした多様な交流など、市民生活に主眼をおいたまちづくりをすすめます。**



### (2) まちづくりのコンセプト

ふれあい×にぎわい×つながり

～市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心はずませる駅西エリア～

高山駅西地区は、地区内の住民のみならず、多くの市民が訪れ、利用するエリアの1つであり、このエリアの活力は、市全体の活力にもつながります。

いきいきと遊ぶ次代を担う子ども、果敢にチャレンジ・活動する若者、憩いやくつろぎを求める人、自らの活動や成果を伝えたい人など、様々な夢や願いをかなえ、笑顔と心はずませる市民があふれるエリアを目指します。

そのため、行政だけではなく、市民や事業者、関係団体など多様な主体と連携しながら、地区の特性を活かしたふれあい、にぎわいの空間の充実や、交通利便性の向上など人と人、人と地域、地域と地域とのつながりの向上により、ふれあい×にぎわい×つながりのまちづくりをすすめます。



## まちづくりの方向性、取組み

## ○方向性 1

## 「ふれあい」のまちづくり ～ 市民交流・生活支援 ～

◀ 主な課題①、② ▶

老朽化している市民文化会館、総合福祉センターの再配置及び他の機能との連携に向けた複合・多機能施設の整備や都市機能の強化により、人々が集い、ふれあうことのできるまちづくりをすすめます。

**1. 多くの市民が集う交流・活動拠点の形成**

- 芸術鑑賞などの文化芸術に触れることができるスペースの確保
- 待ち時間に気軽に立ち寄り、自由に学び休憩できる学習・滞在空間の確保
- 誰もが楽しみ、生きがいを持って活動や交流ができる多目的スペースの確保
- 学生や若者等の様々な活動を支援・後押しできる環境の整備
- ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが安心して利用できる環境の整備

**2. 子育てなど市民生活を支える支援拠点の形成**

- 子どもの健やかな成長を育む遊び場の整備
- 事業者と連携した多様な相談や生活支援機能の配置
- 子育て世帯の負担軽減につながる各種サービスの配置
- 豪雨豪雪などの自然災害から市民や観光客を守る防災機能の確保

## ○方向性 2

## 「にぎわい」のまちづくり ～ 利便性・住環境 ～

◀ 主な課題②、③、④ ▶

市民、事業者、団体などまちづくりに関わる多様な主体との連携を深め、事業活動、地域活動の活性化や住環境と商業機能の調和を通して、住みやすさのなかにもにぎわいのあるまちづくりをすすめます。

**1. 魅力あふれるにぎわい創出拠点の形成**

- 市民ニーズや地区のバランス等を捉えた商業機能・娯楽機能等の配置
- 地域に適した機能誘導のための都市計画用途地域の見直し等の検討
- 高山市のシンボルとなるオープンスペースの確保

**2. 美しい景観と緑のある生活拠点の形成**

- 街路樹、まちかどスポットの整備
- ゆとりある都市空間と憩いの場を創出する緑地等の整備
- 景観重点区域や景観基準の変更等の検討

○方向性 3

「つながり」のまちづくり ～ 公共交通・情報 ～

《 主な課題⑤、⑥、⑦ 》

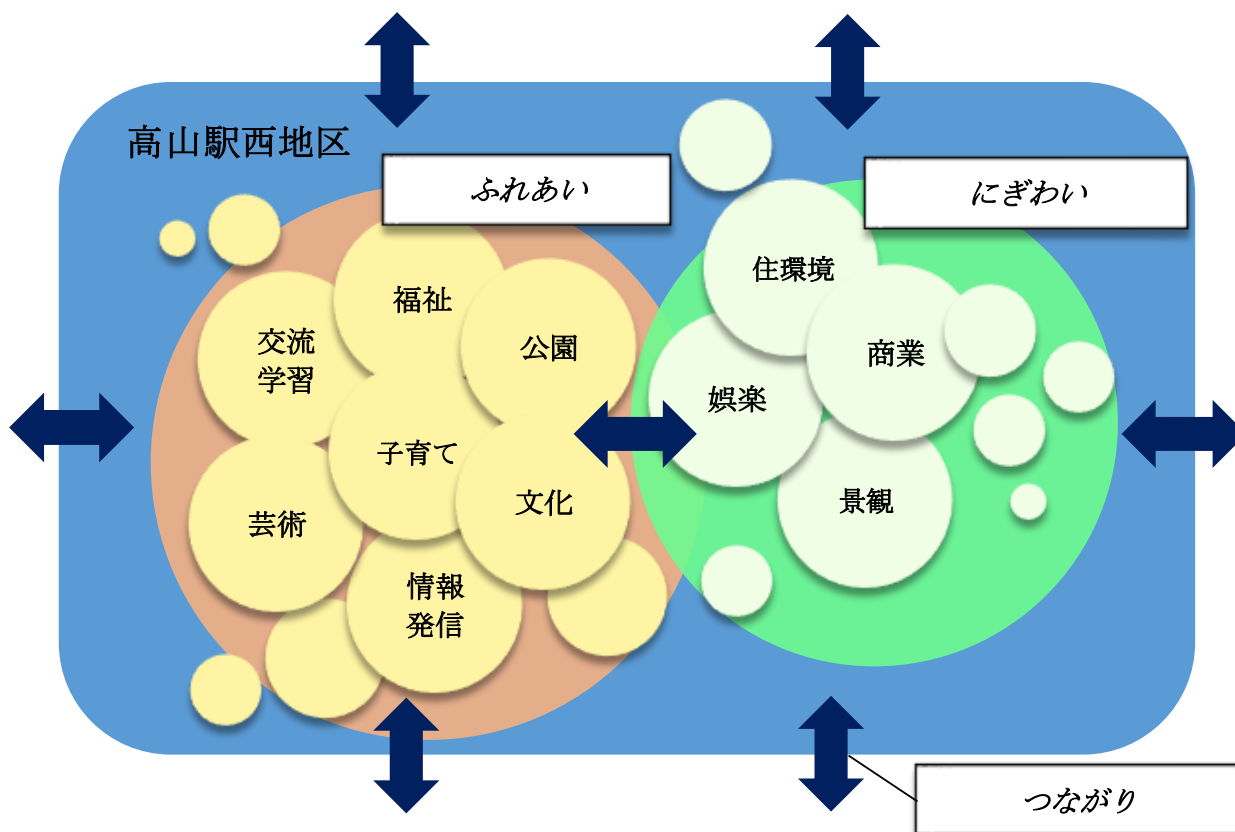
市内各地からの交通利便性の向上や高山駅東地区を含めた多様な機能との連動などハード・ソフト両面から面的に活性化を図るとともに、情報通信技術の活用も含め、飛騨高山の存在感を発信していく拠点として、様々な人や地域が関わり、つながっていくまちづくりをすすめます。

1. 誰もが快適に利用できる交通拠点の形成

- 事業者と連携したどこからでも訪れやすい交通機能の整理
- 面的なにぎわいをもたらす、歩いて回遊できるしかけづくり
- 市街地への車両流入抑制にもつながる十分な駐車スペースの確保
- 円滑な車両通行に向けたアクセス道路の整備

2. 高山の存在感を伝える情報拠点の形成

- 市の地場産業や文化芸術活動の成果などを展示できるスペースの確保
- 情報通信技術を活用した各地とつながりを持てる機能の整備
- VRなどの先端技術を活用した様々な体験や活動ができるスペースの確保



## 複合・多機能施設整備の考え方

複合・多機能施設の整備にあたっては、本構想に基づき、令和5年度に調査などを行い、具体的な機能やその配置、規模等について検討することとしている。その前提となる基本的な考え方について下記のとおり整理する。

### 1. 基本的な考え方

- ▶ 新たな施設の整備にあたっては、市民文化会館・市公民館、総合福祉センターなどの機能の複合化・多機能化を基本とし、駅西から離れている勤労青少年ホーム・女性青少年会館なども含めた機能の複合化等についても検討をすすめる。
- ▶ 現行施設の機能については、集約化や機能間連携の重要性などを考慮したうえで、機能の再配置や規模の検討をすすめるとともに、新たな機能の付加による利便性の向上を図る。

### 2. 機能の考え方

#### (1) 考え方

①施設の機能を「公的サービス機能」、「民間サービス機能」に整理する。

##### ○公的サービス機能

文化会館や総合福祉センター等の機能を中心として運営主体に関わらず、行政として確保すべき機能（公費負担を基本とする機能）

##### ○民間サービス機能

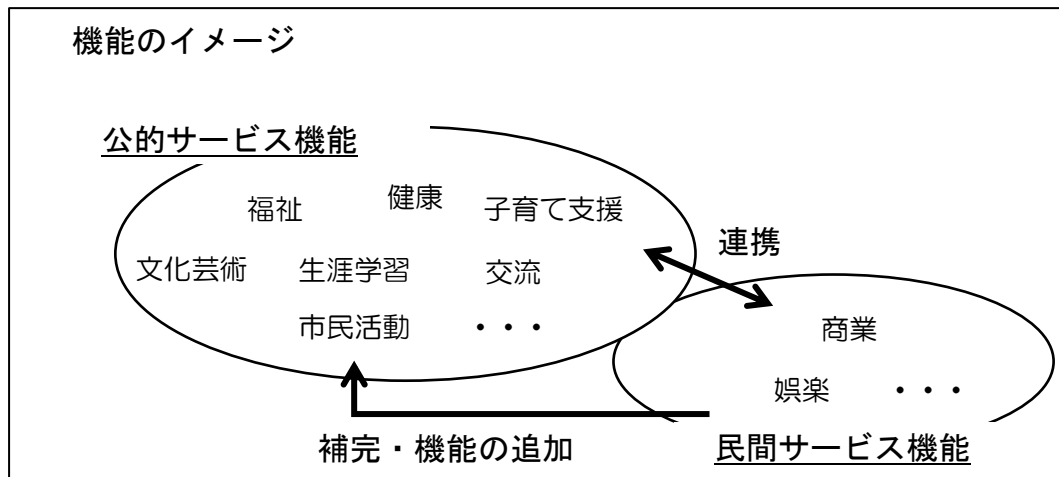
事業者のノウハウ等を活かした民間主体の企画・運営が期待される商業や娯楽等の機能（民間資金の活用を基本とする機能）

②複合・多機能施設は、「公的サービス機能」を核として整備するが、「民間サービス機能」を付帯することも可能とする。

③「民間サービス機能」は、以下を原則として付帯する。

- ・本構想のまちづくりコンセプト等に反するものではないこと
- ・市民生活の向上の視点に立って、地区の魅力創出・向上につながるものであること
- ・「公的サービス機能」と連携や機能の補完、追加によってより利便性が向上されるもの、また両機能の相乗効果につながるものであること

- ④民間サービス機能の検討にあたっては、様々な事業者との意見交換を通して、実施手法や市民ニーズの実現可能性について探っていく。



## (2) 機能の具体的なイメージ

### ①公的サービス機能 (イメージ)

#### 【文化芸術機能】

ホールやギャラリーなどの文化芸術に触れることができるスペース

- ・コンサート、ミュージカル、演奏会、演劇などの鑑賞

(大規模な講演会やシンポジウム、国際会議などの開催も可能)

- ・芸術作品などの成果や地場産品などのものづくり技術の成果の展示や情報発信

#### 【生涯学習・市民活動機能】

生涯にわたっての学びや趣味などの活動を支えるとともに、子どもや若者、高齢者、障がい者、外国人など様々な人が交流できるスペース

- ・各種団体の活動拠点、会議や研修会、講座、交流会などの開催
- ・ものづくりや科学などの体験や工作、料理、創作活動
- ・3DやVRなどの先端技術の体験・活用
- ・楽器の演奏やコーラスなどの練習や収録
- ・図書館と連携した本の貸出・返却サービス(分室)や情報収集
- ・ミニコンサートなどの交流イベントの開催や、食事や打ち合わせ、学習などができるオープンな共用スペース



### 【子育て支援機能】

子どもの健やかな育みや子育て世代を支えるスペース

- ・気候や天候に左右されず思いっきり体を動かすことができる屋内型の子どもの遊び場
- ・妊婦から子ども・子育てまで連続したサポート体制
- ・木育や食育など子どもの成長の支援
- ・子どもに関する相談や一時的な預かり保育
- ・親子のふれあい、妊婦や同じ境遇を持つ親同士の交流の支援



### 【福祉・健康機能】

市民の暮らしや健康を支援するスペース

- ・暮らしや就労など市民生活におけるさまざまな相談や支援
- ・福祉関係団体の打ち合わせや研修会、各種行事などの開催
- ・ダンスやヨガなどの活動や健康教室などの開催

### 【滞在・休憩機能】

気軽に立ち寄り、休憩や滞在ができるスペース

- ・公共交通機関の待ち時間を利用した学習やテレワーク
- ・気軽にくつろいだり読書ができる待合所（ラウンジ）
- ・公共交通機関が停止した際の一時滞在（避難）
- ・イベント情報やお知らせなどの発信・共有



## ②民間サービス機能

### 【商業機能】

物販や飲食などを行うスペース

(主な市民意見等)

- ・ショッピングモールなど様々な店舗を有する大型商業施設
- ・カフェやレストランなどの飲食店
- ・産地直売店のような集客の見込める店舗
- ・若者が事業を始められるチャレンジショップ
- ・観光客などをターゲットとした商業施設を整備すると他の地域への影響がでてくる
- ・渋滞の要因となる、供給過多
- ・投資先としての魅力は少ない

### 【娯楽機能】

遊戯など各種サービスを行うスペース

(主な市民意見等)

- ・映画館（中高生を中心に非常に多い）
- ・映画に対するニーズは減少傾向、運営の維持には疑問が残る
- ・カラオケやボウリング場などがある複合型遊戯施設や動植物園や水族館などの展示施設

### 3. 配置の考え方

#### (1) 施設の配置

施設の配置は、次の場所から選定する。具体的な配置については、市民や事業者等の意見を踏まえ、引き続き検討する。



#### (2) 現行施設の考え方

- 市民文化会館・市公民館は設備の老朽化に加え、非構造部材の耐震化の必要性や舞台への機材搬入・情報通信技術への対応など現代の利用方法に即した施設とするため、再整備する。
- 総合福祉センターは市民文化会館同様、再整備を基本とする。(ただし、補助金の処分制限期間(～R15年度)など、建物の状況等を考慮し、改修による再活用についても検討する。)

#### 4. 留意事項・課題

##### (1) 複合化・集約化のリスク

公共施設の複合化や機能の集約化は、効果的かつ効率的な運営をすすめるためには重要な視点である。しかしながら、機能を集約化することにより、施設利用者の集中による施設周辺の交通渋滞や利用制限・自粛など、利便性の低下や事業・活動の停滞を引き起こす可能性を秘めている。

施設の配置にあたっては、利便性の追求とあわせて、人の流れの誘導や動線の整備、施設外への波及効果（面的な賑わい創出）などを考慮する必要がある。

##### (2) 機能間の連携促進

施設の多機能化にあたっては、それぞれの機能の充実を図ることに加え、機能と機能の組み合わせや相乗効果を考慮する必要がある。また、複合・多機能施設に含まれない機能（屋外の公園、駐車場・駐輪場など）の再配置も含めて、各機能間の連携・連動を意識して検討する。

##### (3) 市庁舎等との機能整理

現在、総合福祉センターにおいて主に社会福祉協議会が行っている生活相談、子育てや障がい者、高齢者の支援などの各種業務については、市の業務と大きく関わっている。機能配置にあたっては、市の事業や業務を含めて整理をしたうえで、機能配置を検討する必要がある。